

名古屋丸の内ロータリークラブ Weekly Report

例会場 名古屋クレストンホテル TEL 052-264-8000
 例会日時 木曜日 12:30
 クラブ会報編集委員長 安藤 正道
 HP <http://rc.nagoya-seinan.org/>



世界へのプレゼントになろう

2015-16年度 R.I.会長
K.R.ラビンドラン

承認 1995.3.28
 会長 岩田 宏
 幹事 若原 正幸
 事務局 名古屋市中区栄 3-29-1
 名古屋クレストンホテル 1007号
 TEL 052-263-1324
 FAX 052-263-0730
 Email seinan1@fancy.ocn.ne.jp

岩田 宏会長年度目標： 他クラブと友好の輪を広げ 名古屋丸の内ロータリークラブを知ってもらおう

第 997 回 例会 No. 42 平成28 年6月2日(木) 晴

友愛夜間例会

於: 大名古屋ビル 33 階「オルクドール」18:30~

- ローターソング 「君が代」「奉仕の理想」
- 出席報告 会員49名中26名出席
- 出席率 51.11% 出席計算人数45名
- 修正出席率 5月19日 95.35%
- ゲスト 田島さんゲスト 青山まゆみさん
- スピーカー 上野直樹さん、安藤正道さん

乾杯

会長エレクト 森田正樹



会長挨拶

会長 岩田 宏



6月の祝福

誕生日	結婚記念日
5日	西川さん、武山さん
6日	吉田光一さん
7日	古川さん
9日	岩田さん
10日	永井さん
16日	水野裕善さん
17日	小菅 誠さん
21日	長谷川さん



ニコBOX

岩田会長 安藤さん、ありがとうございます。

田島さん 安藤さん、本日はありがとうございます。一生の思い出で〜す。

安藤さん 本日はオルクドールサロンをご利用いただきましてありがとうございました。

●本日は地上から遠く離れて友愛夜間例会です。素晴らしい夜景を楽しみながら、友好の輪を広げましょう！

小菅、小原、成田、山崎、後藤、森田、武山、山鳥、河原、上野、堀江、古川、宮崎、渡邊、西川、矢野、恵利、松尾
(敬称略)

本日合計 42,000円



会員一口メモ

上野直樹



オルクドールサロン紹介

安藤正道



弦楽合奏

Violin 西村洋美さん、Cello 紫武友梨さんによる
弦楽二重奏の調べ



33階からの窓越しの夜景



次回例会のご案内

- ◎6月9日(木)第 998 回例会 外部卓話
森国際税務会計事務所 所長 森 茂樹様
- ◎6月16日(木)第 999 回例会
「退任挨拶」会長・幹事・各委員長

第11回理事会議事録

平成28年6月2日(木)18:00~

名古屋ビル33階 オルクドールサロン会議場

出席者 岩田、森田、成田、矢野、山崎、武山、
後藤、磯部

議題

1. 中野雅司さん再入会の件
2. 次年度予算案承認の件
3. その他

K.R. ラビンドラン RI会長メッセージ (「ロータリーの友」6月号より転載)

「奉仕の姿」

親愛なるロータリアンの皆さん、イギリスの作家で空軍のパイロットだったロアルド・ダールは熱心な写真家でもあり、多くの旅にツァイス製カメラを携えていました。フィルムやガラス製ネガを用いて一枚ずつ手間をかけて現像を行っていた時代に、彼には何百枚もの写真コレクションがありました。後年、これらの写真は彼の旅行の視覚的な記録となり、体験をつづったり、ほかの人とシェアするためにに使われました。しかし、彼はいつも自分の思い出を、写真よりも鮮やかに語りました。ダールは、出来事や経験の多くは、明快に捉えることが不可能であり、それらは画像や言葉では十分に伝えることができない、と話していました。

言葉では言い尽くせず、写真は色あせ、心も正確ではなく、そして細部は失われていきます。しかしダールが言うように、決して色あせず、何十年たっても記憶の中で炎のように輝き続ける経験もあります。その炎の壁は私たちの記憶の中で輝きを放ち、その前と後の人生を分ける境界線となります。このたとえは、今まで、ロータリーを通じて世界中を巡った私の経験にも当てはまります。まさにこの一年間は、私の心の中に、それ以前とこれからの人生を分ける炎の壁としてそびえ立ってきましたし、これからも常にそうであり続けるでしょう。

この12か月間を振り返ると、日々の一つひとつの情景が、万華鏡のように代わる代わる目に浮かびます。命をつなぐ心臓手術を受け、快方に向かう子どものそばで心配そうに見守るインド・チャンディーガルの親。破壊的な震災からの復旧を果たした村のあちこちで、はためいていたネパールの国旗。パチカンのサンピエトロ広場で行われたロータリアンの祝典で、ローマ教皇から祝福を受けた時の畏敬の念。そして、世界中の多くの国でさまざまな言語を介して、初めて会うロータリーの兄弟であり、姉妹である友人との楽しいひと時。

国際ロータリー会長としての経験は、写真や言葉では真に語り尽くせない壮大な任務で、燦然たる火柱となって私の記憶にとどまっています。幾戦の場面がその記憶や感情とともに頭の中をめぐり、一つの大きなモザイク画となっています。そのモザイク画の一片一片は、皆さんによって実現された素晴らしい活動の数々です。

本年度も終わりに近づき、この素晴らしい組織の一員としてさらに大きな誇りを感じています。世界をより豊かにし、絶望を希望に変え、恵まれない人々に上昇への道を示すロータリーは、私たち一人ひとりが「世界へのプレゼントになる」ことで、多くの人への贈りものになるのです。